

阿蘇市根本問題、観光・防災・経済について



五嶋 義行

五嶋 阿蘇市の観光振興について、新たな観光スポット「天空の道」を阿蘇市としてどうするのか。

吉良観光まちづくり課長 バイク

ツーリングの通過点として有名になり、来訪者が増えておりますが、元々牧道から始まった道路でございまして、かなり危険な箇所もある道路と思います。今まで地元の方々が手入れしてきた経緯もありますので、今後も地域の積極的な取り組みをお願いしたいと思っております。

五嶋 積極的に地域は取り組むが、道路沿いの長寿ヶ丘の近くに上方山の水神木があるが、新たな観光資源にならないか。

観光まちづくり課長 長寿ヶ丘の近くという事で非常に分かり易いのですが、神木という割にはしめ縄等がなかったのも、長寿ヶ丘一帯の取り組みの中で地域の名物として取り組まれたらいいのではないかと思います。



天空の道

五嶋 黒川発電所ダムの功罪について、昨年の水害後、ダムが水害に影響があるのかどうかの議論をした結果、ダム運用水位を40cm下げることになった。そのことは、九電も感じているし、市としてもダムが影響していると思うのか。

高木総務課長 非常に、難しい問題であると思っています。

五嶋 阿蘇市の経済発展のための特産品づくりについて、副市長のアイデアをお願いします。

宮川副市長 非常に大きな課題であると思います。特産品づくりに向け、どういう体制で臨むか、「人」が重要になってきます。県、市、農協の優秀な専門家をそろえて体制を作り、どんな作物で、どんな特産品をつくるかを決めれば、私は可能であると思っています。

神楽苑リニューアル工事について いこいの村民営化について



市原 正

市原 神楽苑のリニューアル工事については、先日全体会議の中で、内装工事をされたのは阿蘇美の指定管理をされておられる阿蘇アグリスキエアの中山氏が非常なアイデアマンなので、今回の工事をお願いしたいと答弁された。そのアイデアマンのされた工事の内容で、垂木が釘一本や二本でとめてあったり、ペンキがはみだしていたりしているが、これもアイデアなのか。

渡邊経済部長 中身はつぶさに私も検査をしておる訳でございませんで、不備の部分については、手直しの指導をしていきたいと思っております。

市原 いこいの村の民営化については、いろんな事を決定する前に写真ができていたというのは、大変なことになると私は思いますが、経済部長は青写真があったと思われませんか。

経済部長 無かったというふうに思っております。



神楽苑

市原 いこいの村の中川支配人が二月か三月に見たというのは、どう思われるか。

経済部長 ご本人に確認をしているわけではありませんで、私どもとしては見間違いとしかいいようがありません。

市原 渡辺審議員、青写真があったかというのは認められますか。

渡辺審議員 私はそういうものを見ておりませんので、私の段階では知らない、無かったと答弁させていただきます。

市原 私が議員になって間もなく当時の総務部長の職にあった審議員は、「支配人が失敗していかんようになる」といこいの村の民営化が早くなる。」と私に言われたが、覚えておられますか。

渡辺審議員 記憶にございません。

仮設住宅入居期限延長について



河崎 徳雄

河崎 仮設住宅入居期限延長については、どうなっているか。

山口福祉課長 先般、市長及び関係職員で県庁に出向きました。県と市と連携協調を計り、国に一年間延長を強く要望致します。

河崎 仮設住宅入居者の意向調査の目的は何か。また、調査結果についてはどうなっているのか。

福祉課長 被災された入居者の再建の支援を目的としたものです。調査結果は、43入居世帯中、入居期限以内に退去できる方が12世帯、期間内退去が困難と答えられた方が18世帯、市営住宅を希望される方が13世帯です。被災者の多種多様な要望に各課で対応します。

病院改革プランについて

河崎 新病院建設が進み、来年4月の開業を迎えています。病院改革プランの収支計画の中で、24年度の医業収益は、10億1000万円位で、

実績は9億700万円です。1億600万円も未達成です。改革プランでは、平成27年度は黒字計画になっているが大丈夫か。

井野中央病院事務局長 病院職員一丸となり、目標に対して頑張ります。

河崎 地域完結型医療を目指し、二次医療のレベルの機能を有する新病院の要員、管理体制は。

中央病院事務局長 平成27年度に10名の常勤医師を確保し、看護師は10対1の看護基準で75名を見込んでいます。管理体制については、公営企業法の全部適用の導入で、病院管理者を配置し、病院経営に関する責任と権限を明確化する体制を予定しております。



新病院建設現場

農地・水・環境保全対策事業について



市原 新

市原 平成23年度、24年度の波野地区の事業費は、いくらか。

本山農政課長 共同活動については、23年度が、1947万1520円、24年度が1269万6900円の交付額であります。

市原 24年度事業費が前年度に比べて677万4620円減額されているが何故か。

農政課長 国が24年度2期目から、施設の長寿命化や水質・土壌の保全等のより高度な取り組みへとステップアップするため、共同活動継続地区については、単価を25%減額されたものであります。

市原 地元に対する説明と24年度事業計画の指導は。

農政課長 事務局、区長会、農家座談会等で十分説明をし、各地域において知恵を絞りながら有効に使用していただくよう指導しております。

市原 波野地区では、前年度同様事業に取り組みたいので、減額分に

ついて市で補てんしてもらいたい旨、強い要望が出たと聞いているが、市はどう考えているのか。

農政課長 減額分について市が補填することは、出来ないと思います。

市原 共同活動として道路等の草刈り作業に取り組んでいるが、高齢化と後継者不足により、作業に支障が出るようになってきた。2、3人の若手グループに作業を委託することは出来ないか。

農政課長 基本的には地域の共同活動なので、区役の形でやるべきものであり、地元の方々という事であれば、可能かと思われませんが、再度確認し、判断したいと思います。

市原 市道については、一路線対応していただいた。残りの二路線も対応してもらいたい。

井建設課長 市が直接管理するようになっているので、これからも管理を行っていきます。

他に、「農道、林道について」の質問がありました。



市道遊雀・高柳線

教育力のある市にするために



谷崎 利 浩

谷崎 人口問題の視点から教育問題を考える。居住地選択の要素に教育環境があり、教育環境の未整備が人口減少の一因にあるのでは。

日田教育課長 人口減少は主に少子化が原因であると思っており、学力については、県の学力調査でもそれほど低くなく教育力不足とは考えていません。

谷崎 先生が学習に投入できる体制作りの一つとして、部活の時間を短縮し、「お金の掛からないクラブチームや社会体育へスムーズに移行できる部活」の体制を作れないか。

教育課長 部活動は、県の部活動指針で夏の期間は18時30分、冬は17時30分までで明るい内に帰宅すると決まっております。延長練習は、保護者の送迎承諾の上で、学校長が許可をしております。基本的には、再延長ではなく一度帰宅して、夕食を取って更に練習をしたい子は、火の山スポーツクラブなどを案内してい

ますが、学校の部活延長の要望が多いのが現状です。

谷崎 勉強で一番時間を使うのは授業時間。効率良く進捗の速い授業、問題のやり直し、生徒に合わせた宿題など学習効率を上げるのに電子黒板とタブレットの組み合わせに期待したいが、現在の取り組みは。

教育課長 現在導入の方向で、活用・ソフトなど含め教育委員会内部で検討中です。しかし、事業費として8千万円位かかりますので、国・県の支援も模索し、計画をしてみたい。

他に、「部活と塾の板ばさみの問題」、「『明るいうちに自主避難』では、実施した結果、課題、全国民放で評価を頂いた点について」の質問がありました。



電子黒板を使つての授業風景

仮設住宅入居者等の課題と解決策について



川 端 忠 義

川端 仮設住宅入居者で、公営住宅入居希望が13世帯あるが、阿蘇市は要望にどう応えるのか。

阿部住環境課長 公営住宅法や条例によって、災害被災者は公募の例外で入居することが可能です。

川端 公営住宅入居希望者は、高齢の1〜2名の世帯が多く、住み慣れた近くに一緒に住みたいという希望のようだが、どう対応するのか。

住環境課長 仮設住宅入居者との懇談会でも、そういう希望を聞いております。期間延長も含め、現在の仮設住宅を利用できないかという事を熊本県と検討、協議しております。

川端 阿蘇市の仮設住宅は、木造で床や壁なども普通の住宅とあまり変わらない。基礎の部分を変えれば長期間住めると思う。前向きに検討してほしい。次に自宅再建の意向はある人が、入居期限内に退去が困難な世帯が18世帯あるが、どういう理由か。

山口福祉課長 災害復旧工事や移転先の土地などの都合で、2年以内の退去は困難との回答でした。

川端 被災者が希望する安全な用地に移転できるように、農業委員会はどうな努力をされているのか。

石奇農業委員会事務局長 災害転用については緩和措置もあり、その適用を受け、再建される方もいます。農地転用を必要とする方については、随時、熊本県を含め関係機関と連携し、調整を行ってまいります。

川端 被災者の家屋移転のための農地転用には、柔軟に対応できないか。

本山農政課長 やむを得ず集落を出ていく人が多くなれば、集落は崩壊します。これまで集落で守ってきた草原の維持活動等も難しくなります。それで、今後、県と密に連携を取り、被災者に対する農地転用許可基準の例外規定等を受けながら、事務を進めてまいります。



坂梨の仮設住宅

農業に対しての補助金は



井手 明 廣

井手 農業に対する補助金は、農家にとって大変助かっている。今後、JAで進められている集荷場の建設等、莫大な建設費がかかると思う。市を窓口には、国・県・市の補助をお願いしなくては、前に進まないと思うが。

本山農政課長 施設園芸については、非常に成果も上がっており、売り上げも伸びています。施設整備等においては、長期的な年度計画などを立てながら、有利な事業を見つけてまたTPPの絡みでいろんな事業が出てくると思われますので、関係機関と密に連携を取り、市として支援していきたいと思っています。

信号機の設置について

井手 旧中通小学校前の交差点に信号機の設置は出来ないか。
高木総務課長 阿蘇警察署を通じ、管理者である熊本県公安委員会に、以前から要望しております。

統合小学校施設等の管理について

井手 前中通小学校の施設等は、

今後どこが管理するのか。
日田教育課長 現在は、教育委員会が管理しており、跡地についての検討会を行っております。学校社会教育、社会体育等、会議をする場所も不足していますので、教育課所管の公共施設として活用していく方向で、また中通地区の代表の方々の意見を聞きながら具体的な利活用・管理について検討してまいります。

県道内牧坂梨線について

井手 バイパスが早く完成すれば、安心安全な場所に移転するという構想をお持ちの方もいると思うが、現在の進捗状況は。

井建設課長 三野地区の900mが用地買収。残り700mが今年詳細設計。手野地区の1300mのうち半分近くが本年詳細設計です。

井手 何年もこのままの状態で終わりはしないかと気が気でない。県の方にし向き、急ぐよう強くお願いしないと進まないと思うが。

佐藤市長 このままで終わるような事はさせません。この計画については、早くやつてもらえるよう、皆さん方と一丸となり取り組んで参ります。

他に、「集落内の道路の整備について」、「林道の整備について」、「阿蘇いこいの村の民間経営について」の質問がありました。

学校施設備品整備について



高 宮 今朝秀

高宮 阿蘇市内学校12校の施設関係の教材、備品、消耗品の管理方法と、年間経費はどの程度になっているか。

日田教育課長 基本的には各学校長の下で管理されています。学校の備品関係については毎年各学校から要望書を提出して頂き学校間の均衡を図るため重要度、優先順位のヒアリングを行い購入しています。要望に対する実現度合いは65・2%。各学校への配分予算は、需用費を中心に、学校規模により小さい所で390万円、大きい学校で890万円程配分しています。

高宮 平成18年度から新規購入更新された机、椅子の使用に当たって、生徒の持ち上がり制にしたらと提案していましたが現状は如何か。

教育課長 高さ調節の出来るものですが、S、L、LLサイズとあり、生徒の成長に合わせなければならず必ずしもそうではありません。

高宮 生徒も複数年間自分のもの

として使用すれば愛着心も湧き大事に使われ、長持ちするのではとの提案であった。生徒の成長に合わせる大変なということだが、成長を損なわないよう目配せし、又学校統合、校舎建設等大型工事の陰で物の豊かさを勘違いしていないか、更新時のいきさつを知らない先生方にもよく理解して頂くならば物を大事にする教育にもつながると思うが。

教育課長 今後とも備品管理については、各学校長を通じて教職員、児童生徒にも感謝と物を大切にする心も併せて指導してまいります。

阿南教育長 今はいろんなところで物があふれて粗末にしているところがある。学校では教科の授業と共に道徳教育、体験活動を通して社会性を磨く教育にも力を入れています。

他に、「空き店舗政策について」質問がありました。



高さ調節できる机・椅子